成績概要書(2006年1月作成)

課題分類:

研究課題:平成17年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫(植物防疫事業)

担当部署:北海道病害虫防除所、中央農試クリーン農業部予察科・病虫科・総合防除科

上川農試研究部病虫科、道南農試研究部病虫科、十勝農試生産研究部病虫科

北見農試生産研究部病虫科、花・野菜技術センター研究部病虫科、技術普及課

担当者氏名:

協力分担:全道 55 地区農業改良普及センター

予算区分:補助(農林水産省),道費研究期間:2005年度(平成17年度)

1.目的

本年実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病害虫について注意を喚起する。

2. 方法

- 1)農作物有害動植物発生予察事業
- 2) 突発および新発生病害虫診断試験および調査
- 3) 各種の試験および調査

3.成果の概要

1) 平成 17 年にやや多~多発した病害虫

(1)水 稲:苗立枯病(細菌病含)、イネミズゾウムシ、アカヒゲホソミドリ

カスミカメ、セジロウンカ、フタオビコヤガ、ニカメイガ

(2)たまねぎ:乾腐病、ネギアザミウマ

(3)ね ぎ:ネギアザミウマ

(4) キャベツ:コナガ、ヨトウガ

(5)だいこん: キスジトビハムシ

(6)り ん ご:モモシンクイガ、ハダニ類

2) 平成 18 年度に特に注意を要する病害虫

- (1)きゅうりの褐斑病
- (2)メロンの果実汚斑細菌病
- (3)りんごのモモシンクイガ
- (4)りんごのハダニ類

3)新たに発生を認めた病害虫

- (1)大豆のウコンノメイガ (新寄主) Pleuroptya ruralis (Scopoli)
- (2)大豆・だいこん・キャベツのハスモンヨトウ (新寄主) Spodoptera litura (Fabricius)
- (3)きゅうりの褐斑病 (耐性菌の出現) Corynespora cassiicola (Berkeley & Curtis) Wei
- (4)メロンの果実汚斑細菌病 (新発生) Acidovorax avenae subsp.citrulli (Schaad, Swoell, Goth, Colwell & Webb) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley
- (5)ピーマンのうどんこ病 (新発生) Oidiopsis sicula Scalia
- (6)ピーマンのモザイク病(抵抗性品種を侵す病原型の発生) Pepper mild mottle virus (PMMoV)
- (7)ほうれんそうのべと病(新レース) Peronospora effusa (Greville) Cesati
- (8)かぶのトビスジヒメナミシャク (新寄主) Orthonama obstipata (Fabricius)
- (9)アスパラガスのケナガコナダニ (新寄主) Tyrophagus putrescentiae (Schrank)
- (10)食用ユリのユリ類黒腐菌核病 (新発生) Sclerotium cepivorum var. tulipae Desmazières
- (11)ヤーコンの根腐病 (新称) Pythium oedochilum Drechsler
- (12) ブルーベリーのオウトウショウジョウバエ (新寄主) Drosophila suzukii (Matsumura)
- (13)アロニアのクロハススジハマダラミバエ (新寄主) Anomoia permunda (Harris)
- (14)コスモスの白斑病(病原菌の同定)Entyloma cosmi Vánky, Horita & Jage

4. 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

5.残された問題とその対応

- 1)各種病害虫の要防除水準の設定
- 2)簡易な調査方法とモニタリング手法の改善
- 3)発生変動要因の解明と発生予察法の改善
- 4)病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化